

---

# ゲームパニック

輝説

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】  
ゲームパニック

【Nコード】  
N1174P

【作者名】  
輝説

【あらすじ】  
夢のようなゲームが登場するがそのゲームが原因となってしまう物語です。

20xx年1月1日、この日あるゲームが発売された。その名はthe worldである。

このゲームは意識のみをゲーム世界に送り込むという、最先端のゲームである。

ゲーム好きの人には夢のような話である。

このゲームは、ストーリー性はなくひとつの世界で仲間と共に怪物を倒していくといったものである。

敵に倒されても戦う前の状況に戻ることができる。

しかし、戻る場合はエントランスというゲームを始めたとき最初にいた場所に戻ってしまう。

このゲームは、全世界の人々の約9割にもおよぶ人々がプレイしていた。

そして、1年たったある日誰もが予期せぬことが起こってしまった。ゲーム世界のプログラムがハッキングされてしまったのだ。

プログラムが変更されてしまい、現実世界に戻るために必要なプログラムが消されてしまった。

現実に戻れない。

みんなパニックになってしまった。

更なる変更によりすべての怪物の強さが最強になった。

そしてハッカーはなぜかすべての怪物を倒したら戻れるように設定した。

ゲーム世界の一人が喜びながら敵に向かって行った。

しかし、あと少しのところまで倒されてしまった。

倒された人は戻ってこなかった。

そう。死ぬことが許されなくなってしまったのだ。

みんなは更にパニックになってしまった。

そこにこのゲームで最強とうたわれた、伝説のプレイヤーショウが

名乗りを上げた。

「すべての怪物を倒しこの世界からでていくぞー！」

「……。」

誰も返事をしなかった。

それもそのはずみんな死ぬことが怖いのだ。

そこに4人の戦士たちが現れた。

「俺たちも行く。」

ここにいるみんなの希望といえるチームが結成された。

そのとき、安全地帯であるはずのエントランスに怪物が進入してきた。

しかし、その怪物はみんなに囲まれてすぐに倒された。

だが、調子ずいて出て行ったものたちが次々と死んでいった。

5人のチームは、早速怪物に挑んでいった。

そして、怪物は20000匹からいつきに減っていった。

とうとう10匹まできたところでチームはほぼ壊滅状態になってしまった。

敵が少なくなり油断してシヨウ以外全員やられてしまった。

さすがのシヨウも10匹相手では歯が立たない。

しかも、残っている怪物はすべて最強といわれるドラゴン族であり勝てるはずが無かった。

チームは消滅した。

希望が無くなってしまった人々は10匹のドラゴン族に殺されてしまった。

ゲーム世界にいた人々は全員死んでしまった。

こうして全世界の人々の9割はハッカーの手によって殺されてしまった。

(後書き)

読んで頂きありがとうございます。ちなみにシヨウウとは友達をモチーフにした名前です。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1174p/>

---

ゲームパニック

2010年11月24日22時26分発行